

建設産業戦略会議 議事概要

日 時：平成24年5月16日（水）10：00～12：00

場 所：中央合同庁舎3号館4階幹部コーナー会議室1

○ 奥田副大臣より「入札の条件や評価といった大変重要なテーマについて、皆様からご示唆をいただきたい。」旨の挨拶があった。

○ 委員から以下のような発言があった。

（公共工事に係る入札契約制度等のあり方について）

- ・総価一式請負を基盤とした契約約款だけでなく、発注者側のプロジェクトの状況に応じて選べるようなものを作る必要がある。
- ・技術者が不足している発注者を支援するシステムが必要ではないか。

（建設産業の担い手の育成等を推進するための施策（広報戦略）について）

- ・建設業や建設会社をドラマや漫画のテーマに取り上げてもらうといった、ソフトな取組が必要ではないか。
- ・ゼネコンが現場の女性が快適に働けるような環境・処遇を考えなければならない。
- ・処遇を上げることが非常に重要であり、適切な単価、あるべき単価のようなものを示すことはできないか。
- ・建設業の中ではいろいろと取組をしているようでも、外からは全く見えない。一般市民に積極的に発信することが必要である。
- ・建設業だけでなく、ものづくり全体の問題として、幅広く連携して取り組むことが必要である。
- ・「広報担当部」という個別部局ではなく、組織のトップから、組織全体として取り組む必要がある。

（我が国の建設企業の海外展開について）

- ・契約形態等が国内とまったく異なることから、海外展開のためのコンサルティングができるような組織が必要ではないか。
- ・日本の企業が海外展開をした結果を分析する必要がある。請負で利益を上げているのか、マネージメントで利益を上げているのかなどを分析する組織が必要ではないか。
- ・外国人に日本の建設業をもっとよく勉強してもらうことが必要ではないか。
- ・中小建設業者が、海外の地元企業とタイアップして、海外の取引慣行の中でうまくやっていくことが大切。そのための海外進出塾のような支援が必要ではないか。

【今後の予定】

○ 次回は6月中旬に開催予定。